

平成 27 年 1 月 9 日

保護者 殿

日置市立土橋小学校  
校 長 松山 隆志

## 学校評価（2 学期）におけるご意見・ご要望等について（回答）

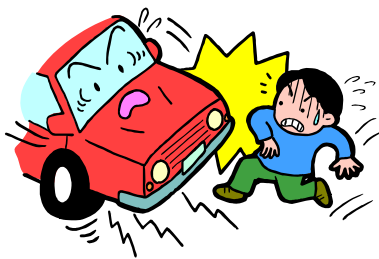
新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、当校教育活動への深いご理解、そして積極的なご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。本年も昨年同様、何卒よろしく願いいたします。

さて、2 学期の学校評価へのご協力、ありがとうございました。今後の教育活動等の参考にさせていただきます（評価結果やご意見等については、当校ホームページにも掲載してあります）。

ここでは、以下の 3 点について、回答させていただきます。なお、ここで取り上げていないご意見等について回答が必要な場合は、校長や教頭、あるいは担任までご遠慮なくお問い合わせくださいますようお願いいたします。

### 1 交通安全面の指導について

「まだ正門の所に放課後座り込んでいたり、駆け回ったりしている時があって、怖いと思うことがあります。」「自転車の乗り方の徹底（ヘルメット着用、左側通行、無灯火防止、4 年生以上の道路使用徹底）」の情報等をいただきました。情報のご提供、ありがとうございます。早速再指導いたしました。



前者については、ご意見にも「まだ」とありますように、これまでも指導を繰り返しているところです。やむを得ず、車で下校する子ども達には、原則として、教室や図書室、多目的室などの安全な場所で迎える時刻まで待つよう指導しています。ただ、迎えが遅れた際などに、ご指摘のような姿が見られるようです。そのため、現在は時折ではありますが、職員が正門に出て確認、指導するなどしております。

また、後者については、該当児童を特定できた場合は、その都度、個別に指導しています。安全指導は全体的な指導もさることながら、該当児への個別指導がより効果的です。お気付きの際は、その児童の命を守るという観点から、ぜひ児童名もお知らせくださいますようお願いいたします。併せて、各ご家庭でのお子さんへのご指導もぜひお願いします。

今後も指導を繰り返しますが、命に関わることで、以前の P T A の会合でも申し上げましたように、指導を重ねてもルールを守れない児童については、お迎えの方に教室や図書室等までおいでいただく、或いは自転車使用許可の取消しをお願いするなど、安全確保上必要な措置を講じさせていただくこともありますので、ご承知おきください。

## 2 学校行事等について

「最近は行事が手が掛からない方へと変わりつつあるようで、少し物足りない気がしています。子ども達のために、たくさん手が掛かっても構わないし、地域の方を巻き込んで行事をやってほしい。きっと最近はお餅つきの道具を借りに来ないなあと思っている方もいると思います。」というご意見をいただきました。「子ども達のために」という大変ありがたいご厚志に、まずもって厚くお礼申し上げます。

さて、大・中規模校は教職員数が多いため、一人当たりの業務の分担数は多くはありませんが、小規模校は職員が少ない分、一人で幾つもの業務を兼任しています。ご承知のとおり、当校は、児童数の減少に伴って教職員定数がここ2年で2人減になり、現時点では再来年度に更にもう1人減となる見込みです。このような中、授業を始めとする教育活動の質の保持や子ども達と向き合う時間等の確保のために、3年前から業務内容や会議等の精選、分掌業務や諸行事等の見直しを進めてまいりました。

行事の見直しについては、行事開催の本来のねらいを踏まえるとともに、児童及び学年が下がるごとに少なくなっていく保護者の皆様の負担軽減を図るという観点も加味して検討しました。ご意見にある「餅つき収穫祭」もその一つです。杵と臼を使っての昔ながらの餅つきは、とても映えのする行事で、特色ある教育活動の柱でした。しかし、一昨年のPTAの場でお話ししましたように、実際には収穫祭開催のねらいの一つである地域の方々との交流がさほどなされていないこと、高学年のもち米作りを契機として始まった餅つきであったこと（ここ数年米作りは行われていないこと）、そして、1年生から6年生までが毎年同じ活動を繰り返すことの教育的意義などを勘案し、その在り方を検討しました。また、二学期の大きな行事が連続する時期の開催による児童や教職員、保護者の皆様の負担軽減や、地域の方々にお借りする、今となっては貴重な杵や臼、あるいは餅つき機を破損等した場合の補償の難しさ（実際にありました）なども検討の観点として、現在の「土っこ秋祭り」のような内容に変更したところです（現行の秋祭りも、毎年の積上げを念頭に次年度の内容を検討しています）。また、11月に開催されていた表現発表会は児童の負担軽減の一つとして取り止め、その代わりに、平素の全校朝会や各種集会等での児童発表の機会の指導を充実させることとしました。他方では、スクラップした行事だけではなく、イチゴ狩りのように地域や保護者の皆様の積極的なご協力により、活動の更なる充実を図ることができた行事もあります。

伝統的に続けられてきた行事の見直しや新たな活動の生み出しには多様な観点からの熟考が求められますが、今後も総合的に判断しながら進めるよう努めてまいります。今後とも、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 3 冬季の服装について

「服装チェックをために、もう少し厳しくしても…と思っています。（後略）」等のご意見をいただきました。この件については、今後も生活のしおり「土っ子の生活」に沿って指導を進めてまいります。よい機会をいただきましたので再配布いたします。各ご家庭でも改めてご確認くださいませ幸いです。

ご意見等、誠にありがとうございました。今後とも、ご意見等がございましたら、いつでも結構ですので、お寄せくださいますようお願いいたします。